

「命の大切さを語る集いとコンサート」講師・出演者プロフィール

平成25年3月24日(日)午後1時～午後4時／千葉市文化センター



清水 康之 プロフィール

NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク代表、自殺対策全国民間ネットワーク代表、BS11「INsideOUT(無料放送)」キャスター(第一、第三「火曜日」担当)、内閣府「自殺対策推進会議」委員、東京都「自殺総合対策東京会議」委員。 twitter: @yasushimizu

1972年、東京都出身。元NHKディレクター。在職中は報道局番組部に所属し、主に「クローズアップ現代」を担当。2001年、自死遺児たちを取材して『お父さん、死なないで～親が自殺 遺された子どもたち～』を放送。それまで匿名で活動していた自死遺児の素顔をはじめて社会に伝えた番組は、大きな反響を呼ぶ。

その後も、遺児や自殺で亡くなった人の遺書、自殺対策等について取材を続けるが、「推進役」のいない日本の自殺対策に限界を感じて、2004年春にNHKを

退職。自らが自殺対策の「つなぎ役」となって活動すべく、同年秋にNPO法人ライフリンクを設立し、代表に就任する。2005年、国会議員会館で自殺対策をテーマにした初のシンポを企画・開催。

2006年、「自殺対策の法制化を求める3万人署名(結果10万人分集まる)」を企画・展開して、『自殺対策基本法』の成立にも大きく貢献する。2007年、自殺対策をテーマに全国47都道府県を回る全国キャラバンを主催。2008年、自殺者305人について遺族から聞き取り調査を行い『自殺実態白書2008』にまとめて発表。2009年、福島大臣ら主導の「自殺対策緊急戦略チーム」メンバーとして内閣府「自殺対策参与」に就任。2011年、菅総理指示で発足した「一人ひとりを包摂する社会」特命チームの座長代理に就任。

持論は「自殺対策とは『生きる支援』『いのちへの支援』である」ということ。幅広い人脈を活かして精力的に活動している。

共著:『闇の中に光を見いだす』(岩波ブックレット)、『自殺社会から生き心地の良い社会へ』(講談社文庫)。



福山 なおみ プロフィール

群馬医療福祉大学看護学部学部長。

自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい事務局長。

茨城県自殺対策協議会委員、群馬県藤岡市社会教育委員。

ささえあいメーリングアドレス: sasaeai@googlegroups.com

山形県酒田市生まれ。教育学修士(明星大学大学院人文学研究科教育学)。

日本大学医学部附属高等看護学院卒業後、同小児科、虎の門病院看護師、埼玉県立衛生短期大学教員(現・埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学部)、筑波大学付属病院副看護部長。看護師として患者の自殺を救えなかった体験から、教育現場に戻り精神看護学を担当し、テーマ「自殺予防における看護師の役割」に取り組む。

共立女子短期大学看護学科教授の傍ら、2006年からライフリンクで「自殺対策基本法成立」に向けた署名活動「自死遺族全国キャラバン」、「自殺実態調査」に参加。2009年、自己の生き方や社会のありかた、仕組みを考える必要性を感じ、「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい」を設立。東京都・茨城県「自殺対策支援事業」や看護協会等における「地域自殺対策」講演。群馬県教員免許更新講習会や小中学校教員並びに養護教諭対象の「子どもの命を守る～児童・生徒の自殺予防～教師にできること」、大学の授業では若者の生きづらさをテーマに「生きる力」、「支え合う社会づくり」を展開。

共著:「自殺予防における看護師の役割」、こころの科学<(特別企画・自殺予防)>(日本評論社)、

「自殺を食いとめる」東尋坊の茂さん宣言(三省堂)他。

「命の大切さを語る集いとコンサート」講師・出演者プロフィール

平成25年3月24日(日)午後1時～午後4時／千葉市文化センター



篠原 鋭一 プロフィール

NPO法人自殺防止ネットワーク風理事長。長寿院(曹洞宗)住職。

住所:〒289-0116成田市名古屋346 電話:0476-96-2204

長寿院ホームページ:<http://choujuin.com/>

1944年、兵庫県豊岡市生まれ、駒澤大学仏教学部卒業。

できることからボランティア会代表、曹洞宗総合研究センター講師、同宗人権啓発相談員、千葉研修務所所長を歴任。24時間開放型の寺院をめざして活動中。多くの大学生、高校生の合宿や、生きなおしを願う若者の滞在を引き受けて、若者達に慕われる。また、「自殺志願者駆け込み寺」としても知られ、すでに6,000人以上と対話。2009年、NPO法人「自殺防止ネットワーク風」を設立。理事長を勤め、現在全国・ハワイを含め52カ所の相談窓口を開設し、注目される。

テレビ出演多数。とりわけNHK教育「心の時代」で「いのち・人間」について語り大きな反響を得て異例の4回再放送。「みんなに読んでほしい本当の話」(興山舎)、「もしもし生きててもいいですか?」(ワニブックス)など著書多数。また、「みんなに読んでほしい本当の話」上・下巻が毎日放送ラジオの人気番組「ありがとう浜村淳です」でラジオドラマとなり好評を得る。

自殺防止ネットワーク風ホームページ:<http://www.soudannet-kaze.jp/> E-mail:soudannet-kaze@nifty.com



やなせ なな プロフィール

シンガーソングライター。

浄土真宗本願寺派・教恩寺第六世住職(法名・釈妙華)。

1975年、奈良県の寺院に生まれる。1999年、龍谷大学文学部真宗学科卒。

2004年5月 シングル『帰ろう。』でデビュー。その後4枚のシングルと3枚のアルバム、自伝エッセイを発売、FMラジオのDJやエッセイスト、ニュース番組のコメンテーターとしても活躍。

30歳で子宮体ガンを克服した経験と、僧侶という視点から、いのちを題材とした歌を数多く制作。やわらかくも芯のある歌声が持ち味。「大人のための癒しの音楽」は中高年を中心とした幅広い層から確かな支持を獲得している。

現在、郷里である寺院での法務の傍ら全国各地での音楽活動を行っている。

中でも、宗派を越えた仏教系寺院でのコンサート&トーク“歌う尼さん”は、感動の涙を流す観客のロコミによって全国に広がり、のべ250回を越える公演を成功させている。昨今ではその地道な活動が注目され、2011年3月には日本テレビNNNドキュメント'11「歌う尼さん～がん闘病から奏でる命」として、2012年9月にはNHK Eテレ「グランジュテ」にて全国に放映され、大きな反響を呼んだ。東日本大震災以降は、被災地支援活動にも精力的に取り組んでいる。その活躍が認められ、母校・龍谷大学校友会より龍谷奨励賞を授与された。

NHK、読売テレビ他テレビ局、ラジオ局等でも活躍。

CD発売:シングル…『帰ろう。』(2004年)、『街の灯』(2004年)、『蝶々/七夕』(2007年)、『まけないタオル～東日本大震災復興支援歌』(2011年)、『ひとつの心』(2012年)他多数。

書籍:自伝エッセイ『歌う。尼さん』(遊タイム出版)(2010年)他。

やなせななオフィシャルサイト:<http://www.yanasenana.net/>